

かねよし

自社一貫体制を拡充

ベンダー・バリ 取り機増設 品質ISO取得

一般鋼材やステンレス、アルミの加工販売を行うかねよし（本社 埼玉県川口市、吉田竜一社長）は自社一貫体制の拡充を進めている。昨年は8基のレーザー切断機を導入したのに続き、ベンダーとバリ取り機の増設も実施。新たにアルミ板の常時在庫も開始するなど、顧客ニーズにきめ細かく応えられる加工・販売体制の構築に注力している。

アルミ板常時在庫開始

主力のレーザー切断
加工後の次工程を中心
に加工領域を広げてき
ており、現在は曲げ加
工やレーザー溶接、バ
リ取り、レベラー歪み
取り、条鋼切断などを
手掛ける。曲げ加工に
ついては加圧能力17
0ト、幅3.5メートル
のトルン
プ製「TruBend
5170」を新設。全
4基のうち、同型の1
70ト×3.5メートル機が2基

となり、小ロットから
量産まで柔軟に対応す
る態勢を整えた。
バリ取り機は従来、
エステーリンク製のメ
タルエステを2基保有
していたが、新たに独
立スマック社製の「S
BM11000」と
「SBM1XS3000」
を増設。対応サイズは
幅1000ミリと同30
0ミリで、両機とも一度
に表裏を同時に加工で
きるのが特長。加工時
間が2分の1に短縮さ
れ、年々高まるバリ取

りニーズへの対応力が
増した。

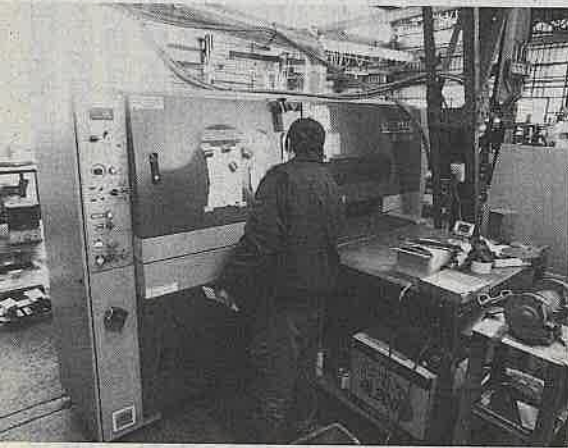
加工能力の増強が進
む中、品質管理面でも
一層の強化を図ること
を目的として、昨年は
品質マネジメントシ
テム「ISO9000
1:2015」の取得
も果たした。社内改革
の一環として、ISO
運用を開始したこと
で、実際に「クレーム
の発生件数も減ってい
る」（吉田社長）など、
成果が上がっている。

異材出荷を防ぐた
め、製品在庫のバーコ
ド管理も開始。バー
コードと共に日付や加
工内容、サイズ、納入
先、個数などを記載し
たオリジナルのラベル
を貼付しており、顧客
の要望に応じて、図番
や現場名、担当者など
も盛り込むことができ
、納入先での管理の
効率化にも寄与する。

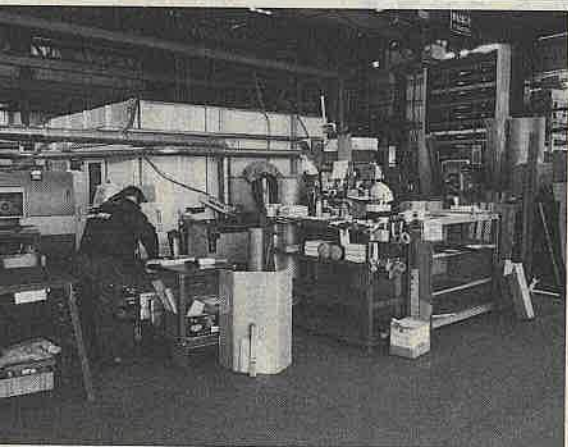
同社の顧客は大口の
需要家や鉄鋼・非鉄流
通から小口の個人まで
すそ野が広く、「新規顧
客が増え続けている」
（同）状況。納入エリ
アも広がりを見せ、最
近は沖縄県からの受注
も増えている。宅配便
での配送比率も高まっ
ていることから、新た
に専用の梱包スペース
を設けるなど、小ロッ
ト対応も強化した。

自社一貫能力の高ま
りとともに顧客からの
引き合いも伸びてお
り、現在はベンダーの
増設を検討している。

設備に合わせ、人員の
増強も進めているが、
直近では宅配便の梱包
要員として、地元のシ
ルバー人材を活用して
いるほか、6月からは
新たにベトナム人実習
生も採用する予定で、
多様性のある職場も推
進していく。



日本上陸間もない独リスマック社製の
バリ取り機



宅配便専用の梱包スペースを設置
(地元のシルバー人材を活用)